

令和元年度 農林水産関係試験研究事後評価(平成30年度終了課題) 一覧表

大分県農林水産研究指導センター

【農業部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
農業研究部	製鋼スラグを利用した野菜類栽培における多面的効果の検証	・根深ネギの病害発生抑制効果の検証 ・ホウレンソウやキャベツの品質及び収量向上効果の検証 ・環境負荷への影響の解明	・成果の普及 ・次期計画に反映
	亜リン酸肥料を用いた夏秋ピーマンの安定生産技術の確立	・ピーマン、葉菜類の生育促進効果の検証 ・環境負荷への影響の解明	・成果の普及 (葉菜類の生育初期に限る)
	市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立	・小イモ生産における適切な栽培条件の解明 ・4、5月取りキャベツに適した品種、作型の解明	・成果の普及
	新技術を核とした施設葉菜類の生産安定技術の確立	・冬ニラの換気や炭酸ガス施用効果の解明 ・ベルトプランター栽培における各種葉菜類の適応性の解明	・成果の普及 ・次期計画に反映
	ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術の確立	・ドリンク向け二番茶の摘採適期予測技術の確立 ・ドリンク用茶園の省力施肥方法の検証	・成果の普及 ・次期計画に反映
農業研究部 水田農業 グループ	県産米利用拡大に向けた酒米生産技術の確立	・酒造好適米品種「吟のさと」を選定 ・「吟のさと」の栽培技術の確立 ・普及カード(品種特性、栽培法)の作成	・成果の普及
農業研究部 果樹 グループ	温暖化に対応したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	・温暖化に対応した品種の選定(3品種) ・温暖化による障害(日焼け)対策技術の効果確認	・成果の普及 ・次期計画に反映
	無加温ハウスに適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	・施設中晩柑の凍害防止対策(簡易ヒータ)の効果確認 ・「あすみ」裂果対策検討、長期貯蔵技術の確立 ・省力型簡易ハウスの構造・作業性を検討	・成果の普及 ・次期計画に反映
	グリーンカボス年明け出荷に対応した技術開発 ～産地から店頭まで～	・反射材(マルチ)による貯蔵用果実生産技術開発 ・「大分果研6号」の貯蔵性確認 ・流通過程の果実傷み要因の解明と対策	・成果の普及 ・次期計画に反映
	「豊里」につづけ！うまくて高収量な大分県オリジナル極早生ナシの開発	・985個体を育苗、DNA分析(早生性) ・果皮色判定で399個体に選抜	・次期計画に反映
農業研究部 花き グループ	キク的环境制御技術による品質向上と安定生産	・高温時の奇形花防止対策技術の確立 ・統合環境制御技術マニュアル(夏秋期、冬春期、低コスト対策)の作成	・成果の普及
	スイートピーの安定生産技術の確立とオリジナル品種の育成	・安定生産技術開発とマニュアルの作成 ・オリジナル品種の育成	・成果の普及 ・次期計画に反映

※農業部門 12課題

【畜産部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
畜産研究部	液状精液を活用した牛の受胎率向上技術の開発 ～牛の液状精液用精液希釈液の開発～	・豚精液希釈液の活用による牛の液状精液の安全性及び受精能・受胎率の確認	・次期計画に反映
	乳用種育成牛由来の雌受精卵による効率的後継牛確保対策	・発情同期化処理した乳用種産牛に対する乳用種育成牛から採卵した雌受精卵の移植による受胎率向上効果の検証	・成果の普及
	コントラクターを軸とした籾米サイレージの広域流通体制の構築と利用技術の開発	・長期保存可能な籾米サイレージ調製条件の解明 ・子牛育成期への籾米サイレージ給与技術の確立	・成果の普及
	黒毛和種における短期肥育技術の確立	・イネWCS麦焼酎粕混合飼料の発育促進効果による肥育期間3ヶ月短縮技術と飼料コスト低減効果の検証	・成果の普及 ・次期計画に反映
	食肉脂質測定装置を用いた豚肉脂質測定システムの開発と豚肉脂肪中のオレイン酸含有率向上技術の確立	・豚肉専用検量線の作出による豚肉脂質測定システムの開発 ・豚肉脂肪中のオレイン酸含有率を高める飼養技術の確立	・成果の普及

※畜産部門 5課題

【林業部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
林業研究部	内装・家具に最適な県産材乾燥技術の開発 ～「栈木痕」の無い板材の生産～	・栈木痕発生抑制技術の確立	・成果の普及
林業研究部 きのこ グループ	乾シイタケ栽培における効率的発生操作技術の開発 ～低温性品種の単収向上に関する研究～	・暖冬に強い品種を選定 ・ビニール掛けによる冬期発生割合の増加を検証 ・ほだ倒しによる単収の向上を検証	・成果の普及 ・次期計画に反映
	有用きのこ類の品種改良に関する研究	・交配株を発生調査により乾シイタケ22系統の選抜 ・交配株を発生調査によりナメコ3系統の選抜と実証試験の実施	・次期計画に反映
	乾シイタケの味覚と機能性に関する研究	・品種の味覚の特徴を明確化 ・紫外線短時間照射によるビタミンDの増加技術の確立 ・紫外線照射によるエルゴチオネインの増加を確認	・成果の普及 ・次期計画に反映
	地域資源を活用したきのこ栽培に関する研究	・アラゲキクラゲ実証試験の実施による新規生産者の育成 ・アラゲキクラゲ菌床栽培の簡易経営指標の作成 ・機能性成分の多いセミタケ増地の作成	・成果の普及

※林業部門 5課題

【水産部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
水産研究部 北部水産 グループ	三隈川水系におけるアユの生息環境の把握と陸封アユ有効利用手法の開発	・アユの不漁を防ぐ環境条件の把握 ・松原ダム湖に適した陸封アユの採捕方法の確立	・成果の普及

※水産部門 1課題

(合計23課題)